

学校法人 東北外語学園

令和3年度 事業報告

第1部 法人の概要

1. 当学園の設置する学校及びその他の事業（令和4年5月1日現在） （設置する学校）

当学園は、以下の学校を設置しています。

- (1) 東北外語観光専門学校（昭和21年設立）
学校教育法第126条に定める専門学校
- (2) 利府おおぞら幼稚園（昭和56年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- (3) 利府第二おおぞら幼稚園（平成2年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- (4) せいがん幼稚園（昭和56年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園
- (5) キャスウェルホテルアンドブライダル専門学校（平成29年設立）
学校教育法第126条に定める専門学校
- (6) 坪井幼稚園（平成20年設立）
学校教育法第1条に定める幼稚園

（附帯事業）

当学園は、附帯事業として以下の事業を営んでいます。

- (1) 利府おおぞら保育園（平成19年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所
- (2) 利府葉山保育園（平成20年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第4条に定める保育所型認定こども園「認定こども園利府葉山保育園」
- (3) 利府第二おおぞら保育園（平成23年設立）
児童福祉法第39条に定める保育所
- (4) おおぞらおひさま園（平成28年設立）
児童福祉法第6条の3に定める事業所内保育事業
- (5) もりのキッズ園（平成29年設立）
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- (6) せいがん保育園（平成29年設立）
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）

(7) 利府の丘キッズ園（平成 30 年設立）

児童福祉法第 59 条の 2 に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）

(8) 笠神保育所（平成 31 年度設立）

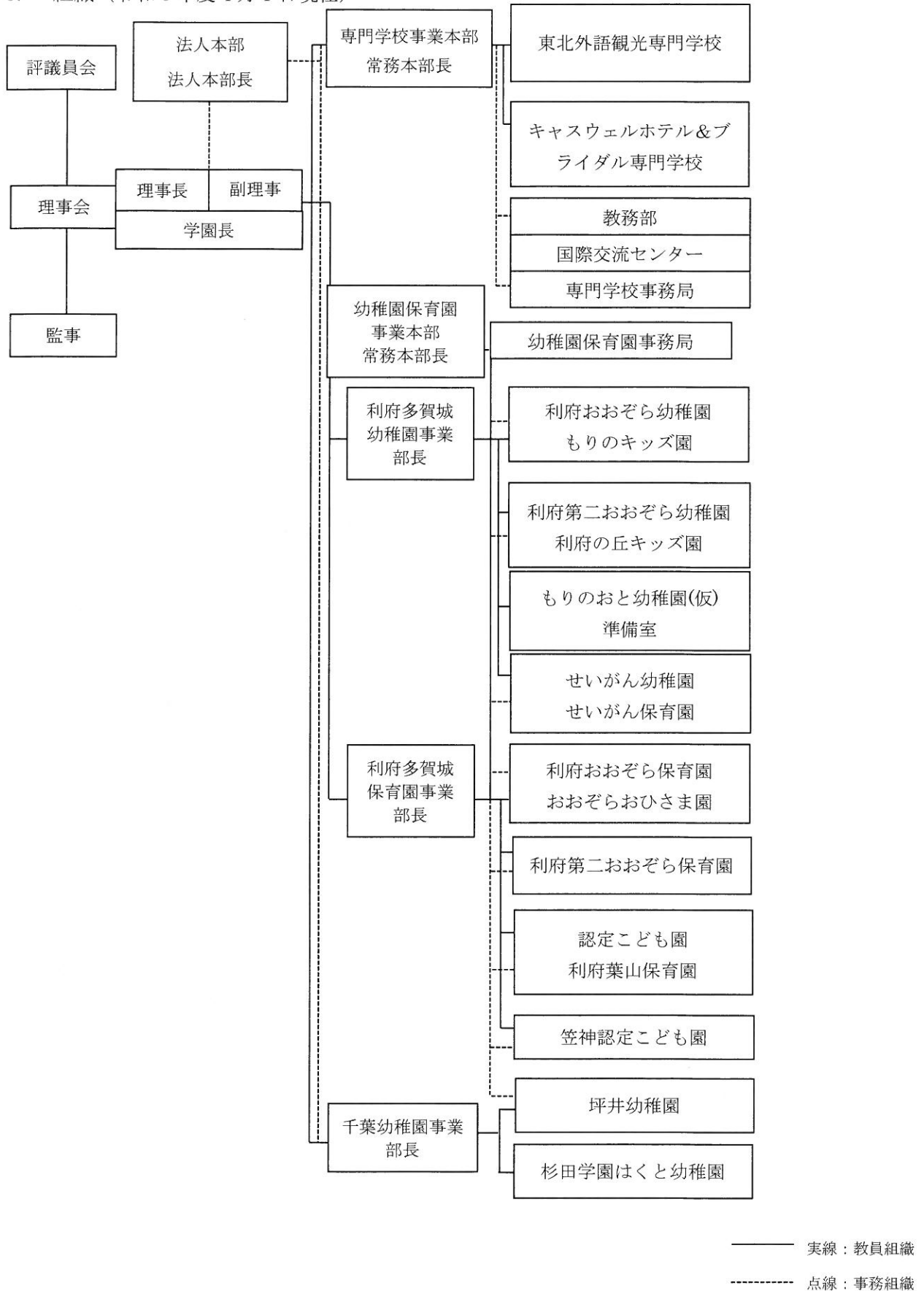
児童福祉法第 39 条に定める保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第 4 条に定める保育所型認定こども園「笠神認定こども園」

2. 沿革

昭和 21 年 11 月 18 日	八軒小路国民学校（現、八軒中学校）にて東北外国語学校創立。英語科予科、英語科速成科等設置
昭和 31 年 4 月	大学受験科及び高校補習科を設置
昭和 33 年 2 月	東北タイピスト養成所を併設
昭和 39 年 10 月	東三番町 20 番地（中央 4・2・25）を購入
昭和 40 年 12 月	東三番町校舎火災により全焼
昭和 41 年 3 月	本校舎（第一校舎）完成
昭和 42 年 4 月	秘書養成科（昼間 6 ヶ月コース）を新設
昭和 43 年 2 月	財団法人「東北外国語学校」認可
昭和 43 年 11 月	第二校舎完成（鉄筋 4 階建て）
昭和 44 年 4 月	英語科本科を昼間、修学期間 1 年に変更
昭和 47 年 12 月	日吉ビルに東北タイピスト養成所を移転
昭和 51 年 6 月	専修学校法の制定により、東北外国語学校を東北外国語専門学校と改称
昭和 55 年 10 月	学校法人東方学園設置認可
昭和 56 年 4 月	利府おおぞら幼稚園開園
昭和 61 年 9 月	岩崎厨房ビル（仙台市五橋 2 丁目 1-13）を取得
昭和 63 年 3 月	ゼネラル電気より東二番町校地及び校舎を取得
平成 2 年 4 月	利府第二おおぞら幼稚園開園 東北外国語専門学校が財団法人日本語教育振興協会より日本語教育施設（定員 120 名）として認定 学生寮コーポラス米ヶ袋、コーポラス土樋新築
平成 4 年 8 月	五橋校舎（現、東北外語学園本館）新築
平成 7 年 3 月	東北外国語専門学校 2 年課程卒業生に専門士の称号が付与
平成 7 年 4 月	学校法人東北外語学園へ名称変更 東北外国語専門学校の設置者を学校法人東北外語学園に変更
平成 8 年 3 月	東北外国語専門学校が初めての語学研修をカリフォルニア大学リバーサイド校にて実施
平成 8 年 10 月 18 日	創立 50 周年記念式典
平成 11 年 2 月	第 1 回同窓会総会
平成 12 年 4 月	専門課程卒業生の大学編入が可能となり、東北外国語専門学校卒業生 2 名が大学へ編入
平成 15 年 1 月	東北外語トラベルセンター開業
平成 15 年 4 月	東北外国語専門学校英語科本科を英語科へ改称
平成 18 年 4 月	東北外国語専門学校に国際観光科を設置
平成 19 年 3 月	利府おおぞら幼稚園新園舎新築
平成 19 年 4 月	東北外語学園 2 号館新築
平成 19 年 5 月	利府おおぞら保育園開園
平成 20 年 4 月	利府葉山保育園開園
平成 22 年 4 月	東北外国語専門学校を東北外語観光専門学校に名称変更

平成 23 年 4 月	利府第二おおぞら保育園開園。利府第二おおぞら幼稚園及び利府第二おおぞら保育園が幼保連携型認定こども園しらかし台こども園として宮城県知事の認定を受ける
平成 27 年 3 月	幼保連携型認定こども園しらかし台こども園を廃止する
平成 27 年 4 月	せいがん幼稚園の設置者を学校法人高橋学園から学校法人東北外語学園に変更し設置者となる
平成 28 年 4 月	利府葉山保育園が保育所型認定こども園「認定こども園利府葉山保育園」として宮城県知事の認定を受ける。おおぞらおひさま園が開園
平成 29 年 4 月	キャスウェルホテル&ブライダル専門学校開校、利府おおぞら幼稚園附属保育施設「もりの保育園」、せいがん幼稚園附属保育施設「せいがん保育園」開園
平成 30 年 4 月	もりの保育園の名称を「もりのキッズ園」に変更、利府第二おおぞら幼稚園附属保育施設「利府の丘キッズ園」開園
平成 31 年 4 月	多賀城市公立保育所の民営化に伴い、笠神保育所を開所する
令和 2 年 4 月	坪井幼稚園の設置者を学校法人清麗学園から学校法人東北外語学園に変更し設置者となる
令和 3 年 4 月	笠神保育所が保育所型認定こども園「笠神認定こども園」として宮城県知事の認定を受ける
令和 3 年 7 月	東北外語トラベルセンター閉業
令和 4 年 4 月	せいがん幼稚園が幼稚園型認定こども園「せいがん幼稚園」として宮城県知事の認定を受ける 利府第二おおぞら幼稚園分園もりのおと園が開園する

3. 組織（令和3年度4月1日現在）



第2部 事業報告

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に係る影響により、専門学校ではオープンキャンパスへの参加者減少や入学者が激減し、利府第二おおぞら幼稚園以外の幼稚園・保育園ではコロナウイルス感染症拡大による臨時休園を余儀なくされた。

また、運営面では、令和3年度「経営理念書」が配布され、学園の経営理念やビジョンなど学園全体で共有した。

(以下、学生数(園児数)は令和3年5月1日現在、新入学者数(入園児数)数等は令和3年4月1日入学者数を記載している)

1. 東北外語観光専門学校・キャスウェルホテル&ブライダル専門学校

学生募集ではコロナ感染症の影響が大きかった。新年度入学者数は外語では151名、キャスウェルでは14名であった。

専門学校ではコロナ陽性者が出るもごく少数であり、行事の縮小はあったものの休校等の措置をとることなく、一部オンラインでの実施となったが対面での授業を実施することができた。

また、エコキャンパス推進及び経費支出削減のため、本館の蛍光灯をLEDに換装した。さらに充実した授業展開ができるよう、本館3階のOAフロアのWi-Fi環境の整備を進めた。

就職状況は、全体では83.6%(92名/110名)、日本人学生については、89.0%(65名/73名)で昨年対比-4.3%である。留学生は72.9%(27名/37名)であった。就職の他に、大学3年次編入者が5名(東北学院大学2名、獨協大学1名、宮城学院大学1名)、留学生では、2名(筑波学院大学1名、神戸国際大学1名)が進学している。

2. 利府おおぞら幼稚園

新入園児数は、3歳児61名(もりのキッズ園から16名)、4歳児6名、5歳児2名の計69名であった。全体では、満3歳児1名、3歳児80名、4歳児48名、5歳児83名の計212名となった。

親子学級を年間約15回行った。2歳児の参加者は13名、コロナの影響もあるが一人一人の子どもや保護者と深くかかわり理解する為、2グループに分け少人数で行なった。

製作や外遊び、触れ合い遊びや英語あそびなど毎回親子で楽しめる活動を提供、後半は幼稚園見学やバス乗車体験など幼稚園の入園を意識できる活動を取り入れ好評だった。

幼稚園に4年保育ができたことで2歳のうちは親子に参加し、3歳の誕生日が来たタイミング(無償化のタイミング)で4年保育(幼稚園)に入園する子ども4名いた。

40周年の年度にあたり、グローバル化を目指し英語教育(GS)のモニター開始とネイティブ講師(2名)の採用、大型遊具の設置や園庭斜面の芝の植え付け、小動物(うさぎ)の飼育などを記念事業として行った。(4年度に継続している事業もある。)

また、コロナ陽性者が発生し、そこから感染の拡大が確認されたことで2月に臨時休園(4日間)と3月に臨時休園(4日間)からの学級閉鎖(2日間)を行い終息を図った。

3. 利府第二おおぞら幼稚園

園児数は、3歳児17名、4歳児21名、5歳児22名の計60名。新入園児数は15名で、在園児弟妹関係・親子学級参加者の入園率が高かった。

子育て支援では、前年度からの継続・在園児弟妹の参加がほぼ占める。参加者の評判がよかった。また、職員の休憩室として給食室2階を整備した。園庭アスレチック遊具のネットの張替え修繕を行った。

4. せいがん幼稚園

令和4年度の幼稚園型認定こども園へ移行手続きを進め、宮城県知事より認定を受け、令和4年度より幼稚園型認定子供園として運営している。

園児数は満3歳クラス1名、3歳児33名、4歳児61名、5歳児64名の計159名。新入園児数は、34名（うち年中入園者1名）であった。

ヨコミネ式教育を行っている園として評価を得ている。幼保の子育て支援事業（親子学級・プレ・園開放）全体を統括する担当職員を専任で配置し、活動内容等子育て支援全体を総合的に行うことで、園児募集との連携をより確立させることができた。

親子学級では、1歳児コース2歳児コースを実施。（1歳児コースは2クラス）。1歳児クラスの環境強化のため、床に敷く簡易マットを導入。創立40周年記念として大型遊具を設置した。従来の大型遊具のあった場所には難易度の高い以上児用の遊具を、園庭奥の畑横のスペースには未満児用の遊具と砂場を設置した。以児遊具は難易度が高いため、年長児にも十分満足するものとして活用されており、未満児遊具と砂場は在園児だけでなく子育て支援でも活用。さらに1歳児の子育て支援事業の充実を図るために床に敷くマットと玩具を購入した。

3月1日のコロナウイルス陽性者発生により家庭保育協力（3/2～3/7）としたが、3月2日にも陽性者が数名でたため休園（3/3～3/7）に切り替えた。

せいがんの一大イベントである学習発表会はコロナ感染の影響で日程変更し、クラス単位での発表会とした。（年長のみ全演目発表、2歳児と年少中児は体操のみ発表）

5. 坪井幼稚園

新型コロナウイルス感染防止に努めながら、昨年実現できなかった年長組のお泊り会を行うことができ、子どもたちに通常保育では体験できない、新たな刺激を与えることができた。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、未就園児の園庭開放の回数が減ったが、園児募集に大きな影響は無かった。

在園児数は、3歳児70名、4歳児69名、5歳児73名。新年度入園者71名（年中転入園1名含む）であった。また、新型コロナウイルス感染防止のため、8月の夏期保育を臨時休園とした。遊戯室の壁紙を貼り替えた。

6. 利府おおぞら保育園

園児数は、5歳児10名、4歳児13名、3歳児13名、2歳児9名、1歳児9名、0歳児4名。新入園児数は、4歳児1名、3歳児3名、2歳児1名、1歳児5名、0歳児4名であった。

コロナ禍における保育方法を模索し、感染対策を徹底した。保護者へ園の様子の発信するため、保護者アプリを導入した。

園見学者数は例年通り。テラスからではあったが、十分に案内できた。地震によりできた壁の亀裂の補修や床暖房（一部のみ）の修理を行った。おおぞら幼稚園 40 周年記念事業により、山の芝生整備や園庭整備を共に行っている。（令和 4 年度も引き続き行う予定）

また、コロナ流行のため、2 月に一週間休園措置を取った。

7. おおぞらおひさま園

園児数は、2 歳児 6 名（うち従業員枠 1 名含む）、1 歳児 5 名（うち従業員枠 1 名含む）。新入園児数は、2 歳児 1 名、1 歳児 5 名であった。

例年に引き続き、利府おおぞら保育園と連携を取りながら保育を行った。コロナ流行のため、2 月に一週間休園措置をとった。

8. 認定こども園利府葉山保育園

園児数は、0 歳児 1 名、1 歳児 7 名、2 歳児 12 名、3 歳児 15 名、4 歳児 13 名、5 歳児 12 名。

新入園児は、7 名であった。

園開放事業（にこにこ広場）を年 8 回実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休園となる。

<休園期間>

8 月 31 日～9 月 4 日・・・運動会中止（園児のみで平日に行う）

3 月 7 日～3 月 11 日・・・3 月 12 日に予定していた卒園式が延期

9. 利府第二おおぞら保育園

園児数は、0 歳児 5 名、1 歳児 11 名、2 歳児 12 名、3 歳児 9 名、4 歳児 15 名、5 歳児 16 名の合計 68 名。新入園児数は、0 歳児 5 名、1 歳児 6 名、2 歳児 3 名、3 歳児 3 名、4 歳児 1 名の合計 18 名であった。

園開放（にこにこ広場）を行っているが、コロナのためもあり、来園者は少なかった。コスモスポーツクラブによる体操教室を正課、課外で行っている。正課での体験を経て課外を希望する園児もいる。

施設では、壁紙・テーブル・ソファなどを購入し、休憩室を整備した。職員の事務作業効率化のため、パソコン 3 台購入。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2 歳児クラスは 2 月 19 日から 2 月 22 日まで、全体では 2 月 26 日～3 月 3 日まで臨時休園となった。

10. 笠神保育所（笠神認定こども園）

令和 3 年度より新園舎の供用を開始し、保育所型認定こども園笠神認定こども園として運営を開始した。

令和3年度は、地域親子支援「はなちゃん広場」を7回実施。参加親子総数は20組で、園庭開放（毎週水曜日・金曜日）は令和3年10月から開始。来園者総数は28組であった。

在園児数は、0歳児5名、1歳児12名、2歳児12名、3歳児18名、4歳児12名、5歳児13名の計72名。新入園数は25名であった。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月15日～17日まで臨時休園となった。

11. もりのキッズ園

園児数は、1歳児10名、2歳児12名の計22名。新入園児は1歳児10名、2歳児12名。

プレ幼稚園は幼稚園の4年保育の開始により需要が減り、昨年は休会としたが今年度から正式に廃止とした。どうしても4年保育が不安な方については子育て支援として幼稚園の4年保育のクラスに週2日に通園するコースを作り対応している。

園開放に関してはLINEやインスタグラムを利用し周知し、登録制で行っている。学年末の時点で0歳児6名、1歳児11名、2歳児11名だった。曜日を年齢別にし、同年齢の保護者の交流の場となったり、そこから保育ルームや次年度の親子へのつながりも見られた。

コロナ関連では8月に保育ルームがクラスターと認定され16日間休園、2月にも陽性者が確認され感染拡大防止のため5日間休園としたが、拡大は見られなかった。

12. せいがん保育園

ヨコミネ式教育を行っている園として評価を得ている。幼保の子育て支援事業（親子学級・プレ・園開放）全体を統括する担当職員を専任で配置し、活動内容等子育て支援全体を総合的に行うことで、園児募集との連携をより確立させることができた。

園児数は、保育ルーム（2歳児）17名。新入園者数は、園児募集人数18名に対し17名であった。

創立40周年記念として以上児用遊具の他に未満児用遊具と砂場も設置した。年齢にあった遊具が設置され、未満児の遊び環境が整った。3月1日のコロナウイルス陽性者発生により家庭保育協力（3/2～3/7）としたが、3月2日も陽性者が数名でため休園（3/3～3/7）に切り替えた。

せいがんの一大イベント学習発表会はコロナ感染の影響で日程変更し、クラス単位での発表会とした。（年長のみ全演目発表、2歳児と年少中児は体操のみ発表）。預かり保育室を2部屋とも保育園所有にし、変更申請を行った。

13. 利府の丘キッズ園

園児数は、1歳児3名、2歳児5名で、新入園児は3名で、幼稚園児の弟妹の入園となった。

また、1～2歳児対象の園開放を実施。幼稚園在園児弟妹の参加がほぼ占めた。

14. 法人本部

令和3年度より専門学校から1名幼保事務局へ異動となり、企業主導型保育園の施設長を兼務することとなった。今後も引き続き専門学校総務秘書室と連携し、幼保の事務の面での対応を強化していく。また、認定こども園実行本部会議を開催していたが、もりのおと園が令和4年4月よ

り第二おおぞら幼稚園の分園として開園したことにより一旦役割は終えた。今後も引き続き認定こども園申請のフォローを行っていく。

事業活動収支計算書

令和3年 4月 1日から

令和4年 3月 31日まで

学校法人東北外語学園

(単位 円)

		科目	予算額	決算額	差異	摘要
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	391,741,295	559,125,190	167,383,895	
		手数料	3,287,000	3,412,950	125,950	
		寄付金	0	0	0	
		経常費等補助金	340,374,357	216,346,037	-124,028,320	
		付随事業収入	550,349,523	590,783,420	40,433,897	
		雑収入	10,055,115	15,106,476	5,051,361	
		教育活動収入計	1,295,807,290	1,384,774,073	88,966,783	
	事業活動支出の部	人件費	791,956,300	819,911,236	27,954,936	
		教育研究経費	199,738,433	220,881,328	21,142,895	
		管理経費	497,217,530	304,703,781	-192,513,749	
徴収不能額等		0	0	0		
	教育活動支出計	1,488,912,263	1,345,496,345	-143,415,918		
	教育活動収支差額	-193,104,973	39,277,728	232,382,701		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
		受取利息・配当金	936,000	793,681	-142,319	
		その他の教育活動外収入	0	230,823	230,823	
		教育活動外収入計	936,000	1,024,504	88,504	
	事業活動支出の部	借入金等利息	2,783,140	4,266,969	1,483,829	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	2,783,140	4,266,969	1,483,829	
	教育活動外収支差額	-1,847,140	-3,242,465	-1,395,325		
	経常収支差額	-194,952,113	36,035,263	230,987,376		
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	3,369,000	6,001,500	2,632,500	
		特別収入計	3,369,000	6,001,500	2,632,500	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	0	0	
		その他の特別支出	0	194,016	194,016	
		特別支出計	0	194,016	194,016	
	特別収支差額	3,369,000	5,807,484	2,438,484		
		[予備費]	33,000,000	/	0	
		基本金組入前当年度収支差額	-224,583,113	41,842,747	266,425,860	
		基本金組入額合計	61,425,415	-339,165,330	-400,590,745	
		当年度収支差額	-163,157,698	-297,322,583	-134,164,885	
		前年度繰越収支差額	0	-451,162,178	-451,162,178	
		基本金取崩額	0	0	0	
		翌年度繰越収支差額	-163,157,698	-748,484,761	-585,327,063	
		(参考)				
		事業活動収入計	1,300,112,290	1,391,800,077	91,687,787	
		事業活動支出計	1,524,695,403	1,349,957,330	-174,738,073	

貸借対照表

令和 4年 3月 31日

学校法人 東北外語学園
(単位 円)

科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部			
固定資産	4,707,852,846	4,723,707,762	-15,854,916
有形固定資産	4,436,909,098	4,227,057,459	209,851,639
土地	1,656,287,996	1,656,287,996	0
建物	2,182,078,657	2,248,516,551	-66,437,894
教育研究用機器備品	41,905,602	43,656,660	-1,751,058
その他の有形固定資産	556,636,843	278,596,252	278,040,591
特定資産	184,860,027	289,860,009	-104,999,982
有価証券	63,408,694	63,408,694	0
その他の固定資産	22,675,027	143,381,600	-120,706,573
流動資産	1,146,240,428	1,324,142,124	-177,901,696
現金預金	1,116,417,126	1,091,432,521	24,984,605
その他の流動資産	29,823,302	232,709,603	-202,886,301
資産の部合計	5,854,093,274	6,047,849,886	-193,756,612
負債の部			
固定負債	620,382,694	395,535,767	224,846,927
退職給与引当金	5,750,694	5,119,767	630,927
長期借入金	614,632,000	390,416,000	224,216,000
流動負債	394,553,344	736,197,462	-341,644,118
前受金	198,964,000	245,632,417	-46,668,417
短期借入金	85,332,000	85,207,874	124,126
未払金	52,081,686	232,144,059	-180,062,373
その他の流動負債	58,175,658	173,213,112	-115,037,454
負債の部合計	1,014,936,038	1,131,733,229	-116,797,191
純資産の部			
基本金	5,583,804,396	5,244,639,066	339,165,330
第1号基本金	5,583,804,396	5,244,639,066	339,165,330
第2号基本金	0	0	0
繰越収支差額	-744,647,160	-328,522,409	-416,124,751
元入金	3,837,601	122,639,769	-118,802,168
翌年度繰越収支差額	-748,484,761	-451,162,178	-297,322,583
純資産の部合計	4,839,157,236	4,916,116,657	-76,959,421
負債及び純資産の部合計	5,854,093,274	6,047,849,886	-193,756,612

財産目録

令和4年3月31日

(単位:円)

科目	残高
一 資産額	
(一) 基本財産	4,436,909,098
1 土地	1,656,287,996
2 建物	2,182,078,657
3 教育研究用機器備品	41,905,602
4 その他	556,636,843
(二) 運用財産	1,413,346,575
1 現金預金	1,116,417,126
2 その他	296,929,449
(三) 収益事業用財産	3,837,601
合計	5,854,093,274
二 負債額	
(一) 固定負債	620,382,694
1 退職給与引当金	5,750,694
2 その他の固定負債	614,632,000
(二) 流動負債	394,553,344
1 前受金	198,964,000
2 その他の流動負債	195,589,344
合計	1,014,936,038

(注) (1) 基本財産: 学校法人の設置する私立学校の経営に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

(2) 運用財産: 学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

(3) 収益事業用財産: 収益を目的とする事業に必要な財産


監査報告書

令和4年5月27日

学校法人東北外語学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人東北外語学園

監事 井澤 徳昭 

監事 山本 宣生 

私たちは、学校法人東北外語学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務及び財産に関する不正な行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実がないことを認めました。

以上